

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)広島プラザホテル海田市駅前プロジェクト

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		竣工段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.39		-	3.1
1 音環境						3.3	0.15	3.2	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						4.9	0.40	3.6	0.40	
1 開口部遮音性能		(共用部)(住居部)T-3仕様				5.0	0.96	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.04	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						3.1	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.3	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		客室は個別空調方式				4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.7	0.25	3.8	1.00	3.2
3.1 屋光利用						3.0	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率		(共用部)【ロビー】1.86% (住居部)居室S1:5.54% 居室S2:4.1% 居室T:3.96% 居室HCR:2.26% 居室HWT:1.8%				3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 屋光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	3.0	0.30	
1 屋光制御						2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		(共用部)4作業単位で照明制御ができる。 (住居部)室内の複数部分に対してリモコン等で細かい照明制御ができる。				3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境						2.8	0.25	3.1	1.00	2.9
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		(共用部)(住居部) 告示対象となるホルムアルデヒド発散建築材料は全てF☆☆☆☆を使用。				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	1.6	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.9
1 機能性						3.1	0.40	2.3	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	2.5	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	1.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		(住居部)100Mbps,Cat5				-	-	4.0	0.50	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		(共用部)(住居部) ①内壁面は防汚性の高い仕上(モザイクタイル貼) ③適度な水を使用して洗浄可能な素材の使用 ⑤風除室の1次扉と2次扉間の距離:3.8m ⑥維持管理方法が大きく異なる床材の接近なし ⑧開口部に水切り、屋外避難階段に水切りの設置 ⑩防錆対策(めっき処理)				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		(共用部)(住居部)タイル貼(40年)				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		(共用部)(住居部) 主要な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		(共用部)(住居部) ①節水型器具の採用 ②可能な限り配管の系統を区分 ④受水槽、貯湯槽				4.0	0.20	-	-	

	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.6	0.30	2.6	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり		-	-	2.2	0.50	
	1	階高のゆとり	-	-	1.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	(住居部)居室S1:0.39 居室S2:0.27 居室T:0.24 居室HCR:0.24 居室HWT:0.35	-	-	4.0	0.40
	3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.6	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	(共用部)(住居部)天井スペースを確保し、仕上げ材を痛めることなく空調配管の更新・修繕ができる。	4.0	0.20	-	-
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	5	設備機器の更新性	(共用部)(住居部)ルートまたはマシンハッチが確保され、更新・修繕時に建物機能を維持できる。(屋外設備スペース)	5.0	0.20	-	-
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.31	-	-	2.4
	1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.3
	1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
	2 自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	-	3.0
	3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.66	5.0	0.63	-	5.0
	4 効率的運用		3.5	0.25	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価		3.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	レベル3に加えて年間エネルギー消費量の計算に基づく、建物全体のエネルギー消費量の目標値が計画され、建築主に提出されている	4.0	0.50	-	-
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
	1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		(共用部)(住居部)節水コマ・省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-
	2 非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	3.0	0.10	-	-
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		(共用部)(住居部)GL工法・OAフロア・LGS下地 躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 再利用できるユニット部材を用いている。(UB)	5.0	0.20	-	-
	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
	1 地球温暖化への配慮		(共用部)(住居部)ライフサイクルCO2排出率70%	4.1	0.33	-	4.1
	2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	0.50	-	-	
	2	振動	3.0	0.50	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	(共用部)(住居部) 屋外照明:「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす 広告物照明:「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-